

# 〈ほたて漁業の適正養殖を〉

# むつ湾漁業振興会が養殖指導方針の緊急通達

むつ湾ほたて漁業は一〇〇億円産業として、今や本県の重要基幹産業として位置付けられている。

しかし、このほたて漁業も中国産ベビー製品の輸入、国内生産量の増大、更には経済不況のあおりを受け、魚価の低迷等大きな危機に直面している。むつ湾のほたて生産量は年間約八万トンであり、その内半成員・新貝と称する小型貝の生産が大半を占めているのが現状である。

ところが、ここ数年来過密養殖傾向にあることが県の実態調査等により明らかになってきた。小型貝は一年サイクルで施設が有効利用できることと漁業者にとっては最も恐い夏場の高水温によるへい死が少ないことである。

このことが漁業者全体の意識を変え、本来進められるべきである「良質・大型貝づくり」に歯止めをかけており、過密養殖が餌不足を招き、これが品質低下と水揚げ停滞につながっている。

近年、価格が下落したことにより漁業者は品質よりも増産傾向に走り、漁業経営は益々悪化傾向をたどっている。

そこでこのたび、むつ湾漁業者で組織するむつ湾漁業振興会では、ほたて漁業の維持経営安定のため緊急通達をし、必要に応じて現地指導を実施することにした。

## 〈緊急通達〉

- ① 稚貝採取の抑制を図ること。
- ② 半成員用の稚貝の二次分散はパールネット1枚当たり15枚以内とする。

むつ湾漁業振興会連合会  
青森県漁業協同組合

## ホタテ養殖ごよみ

適正数量を守り、適正管理を行い、良質・大型貝の安定生産を確立しましょう。

平成8年作成

年	1 年 目												2 年 目												3 年 目											
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7							
作業内容	採苗						中間育成						本養殖												出荷											
作業基準	採苗器投入 適期に数回、水温上昇、酸素数ヶ所に分け、不足等に注意して投入						稚貝採取 水温20℃以下 付着数が多過ぎたりヒトデ・ウミセミが見られる場合は間引きをする。						第1回稚貝分散 稚貝にフチが回り出した頃						第2回稚貝分散及び耳つり 優良な貝を必要量確保						半成員分散 水温20℃以下、稚貝にフチが回り出した頃、優良な貝を必要量確保						出荷					
	養殖用						第1回稚貝採取 1.5ヶ目						第1回稚貝分散 2ヶ目						第2回稚貝分散・耳つり 4ヶ目						半成員分散						出荷					
良質貝を生産するには、連間隔・収容枚数・収容期間（分散時期）の相関関係を認識して養殖することが大切です。						連間隔 50cm以上 収容枚数 50~80枚以下						連間隔 50cm以上 収容枚数 15枚以下						連間隔 100cm以上 収容枚数 10枚以下						連間隔 100cm以上 収容枚数 10枚以下						出荷						
地まき用						年内放流						翌春放流						6枚以下/m <sup>2</sup>						6枚/m <sup>2</sup>												
連間隔 50cm以上 収容枚数 30枚以下						連間隔 50cm以上 収容枚数 20枚以下																														